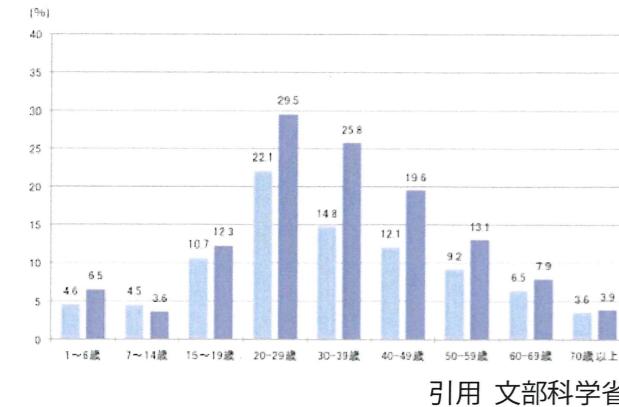


01 問題提起

近年広まりつつある食育。

それは子供にだけでなく大人にも必要なことである。

表1 朝食の欠食率(左女性 / 右男性)

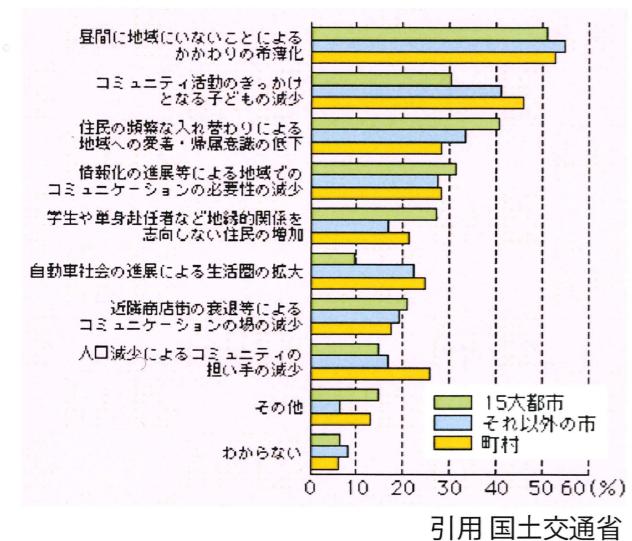


青年期にはご飯を欠かすことが多くなる。

健康ゆえに意識が低く、過度なダイエット、偏食、

孤食と若者の食に対する正しい知識は不足している。

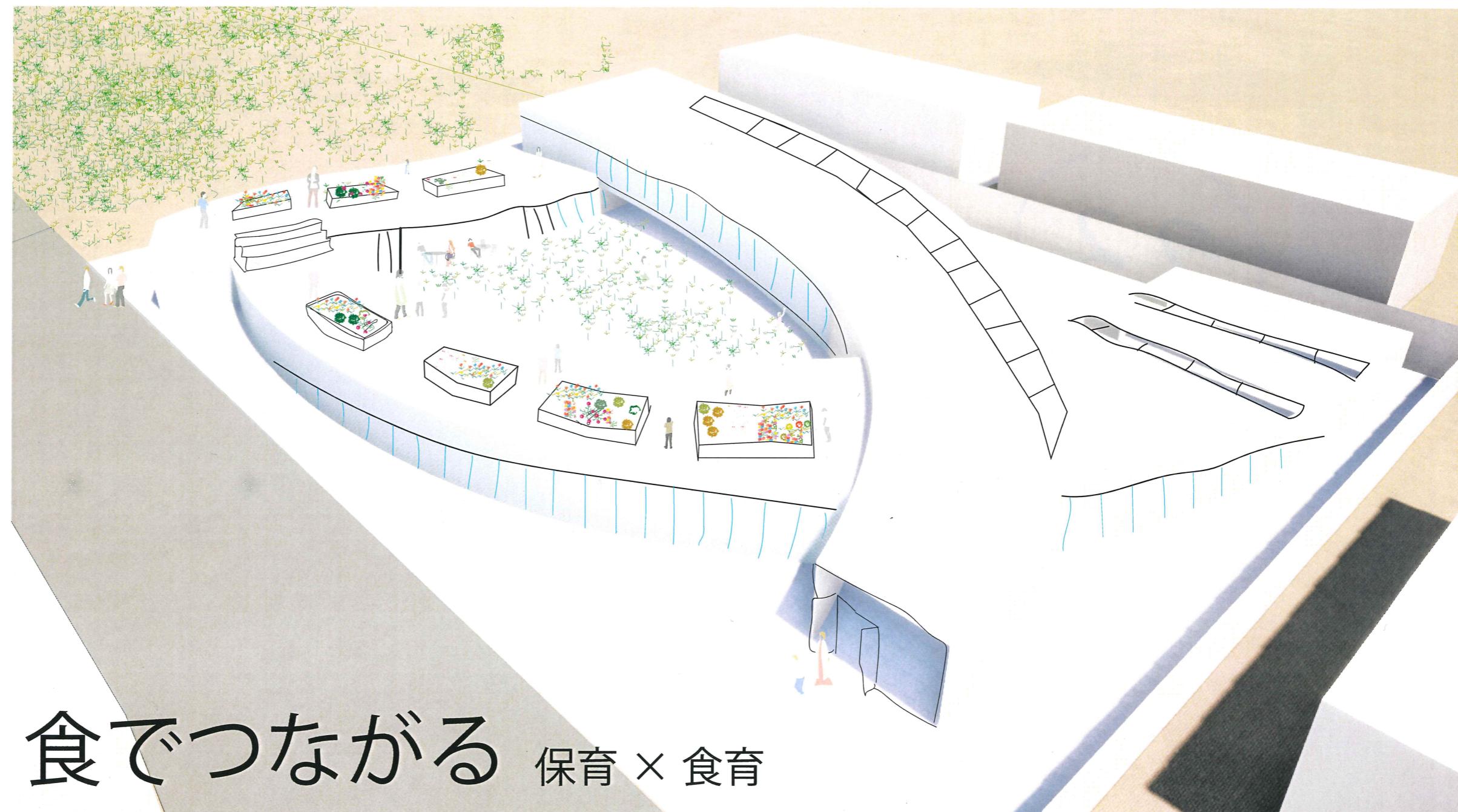
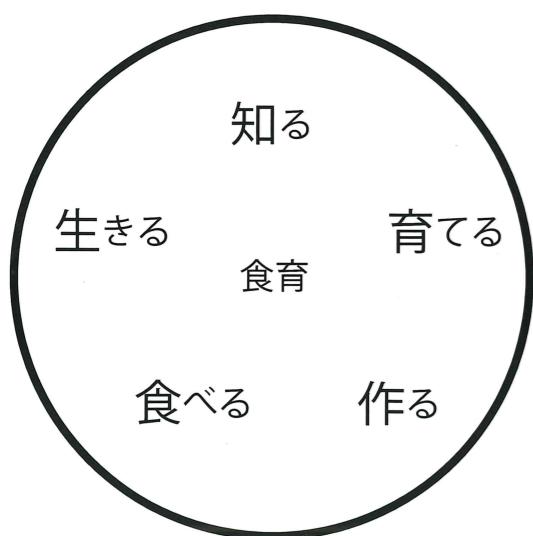
表2 地域の人々との付き合いが疎遠な理由



関わりの頻度の低下はSNSの普及による、

実社会でのコミュニティのトリガー不足である。

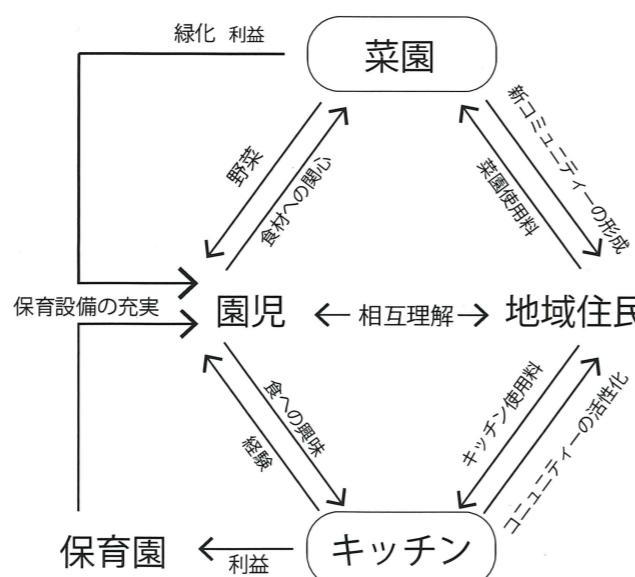
02 食育5原則



食でつながる 保育×食育

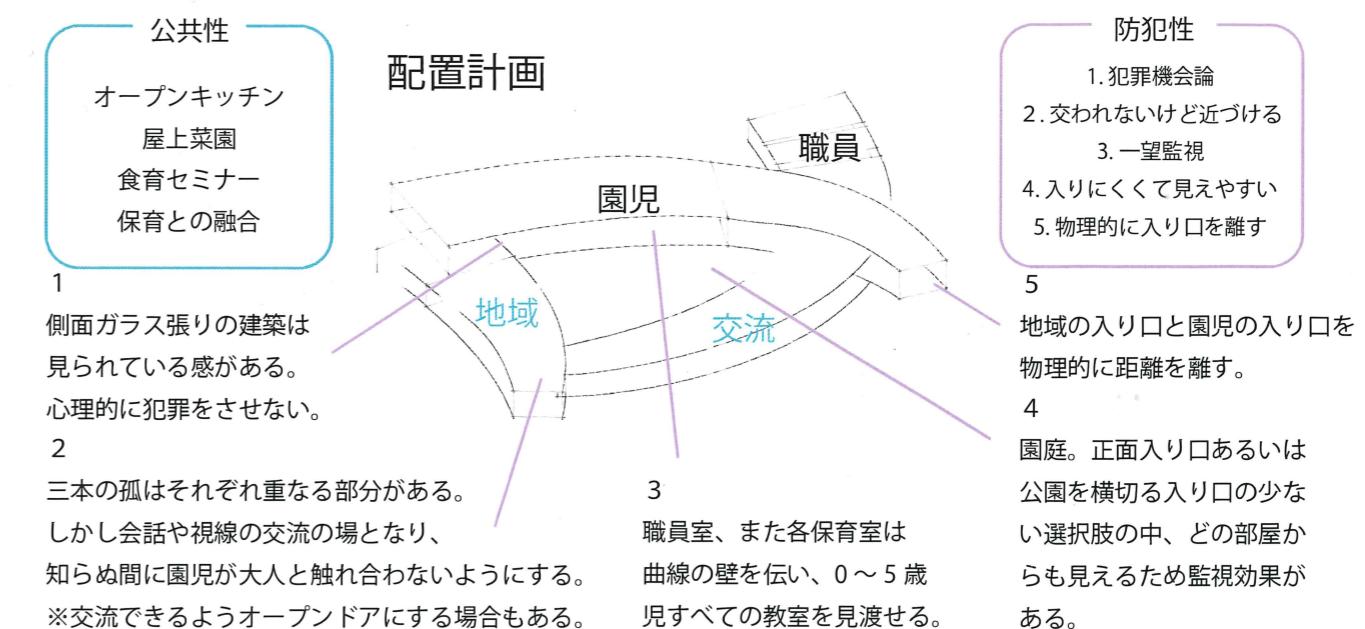
03 システム

園内に地域に開放するレンタルキッチンと屋上菜園を設け、食育活動を通して園児と地域住民に共通の空間と時間を提供し新たなコミュニティを構築する。

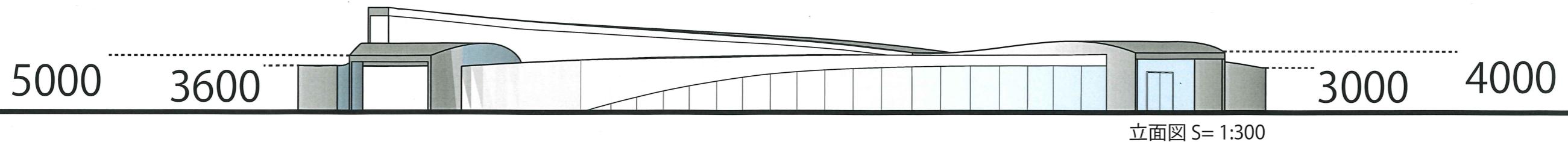


04 手法 犯罪機械論を用いた提案

現代において開放すぎる保育園は防犯上問題がある。地域とのかかわりを大切にする公共性と子供たちの安全を守る防犯性という一見相反する二つの性質を建築の形で共存させることで、食育ステーションの役割を担う。



05 立面計画



06 平面計画

遊環構造

とれた野菜でかんたん調理

下を潜り抜けられる

段差による仕切り

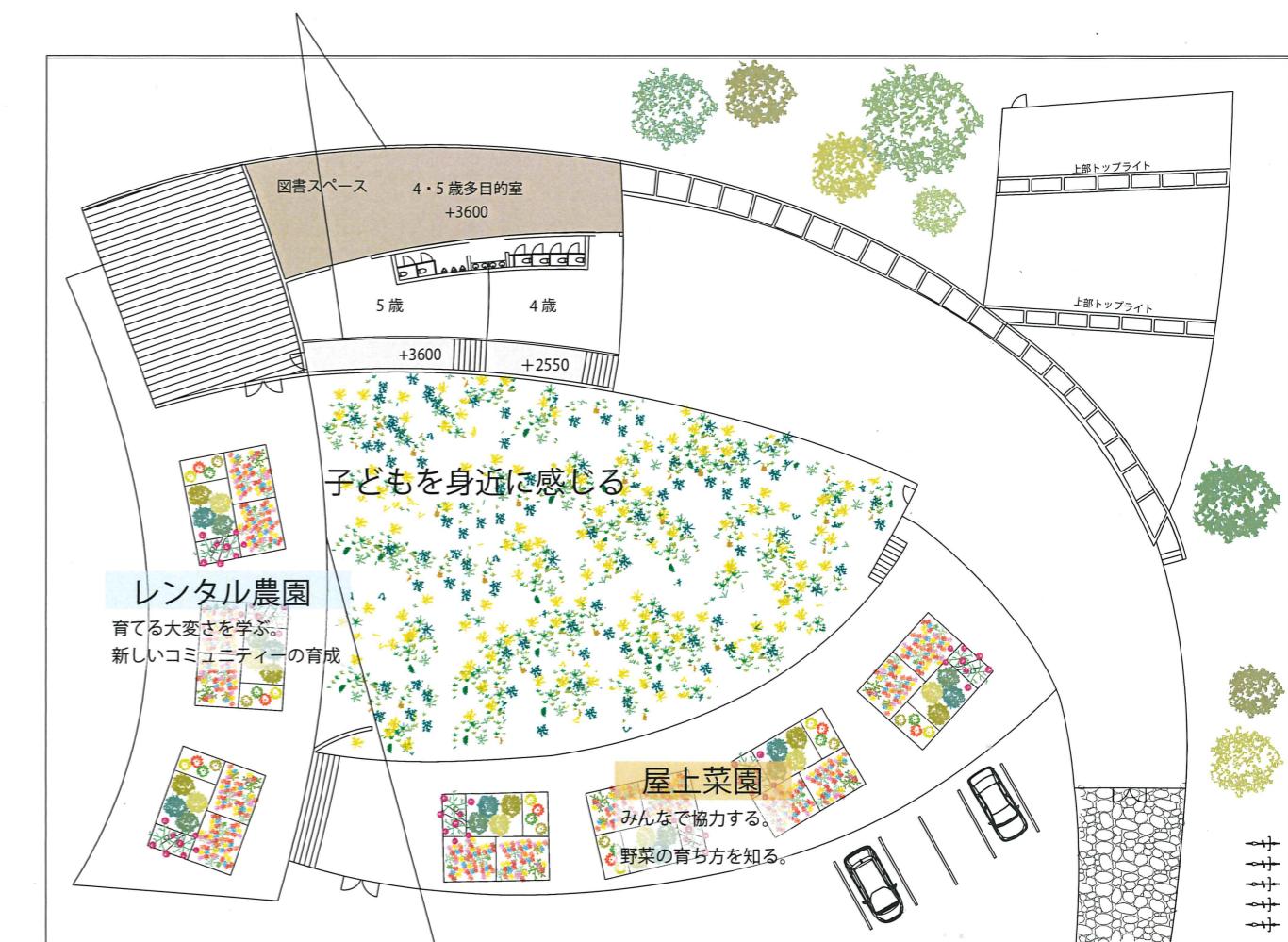
屋上庭園により、内外を自由に駆け回れるようにげた箱は各教室の付近に設置。

中庭に向かう視線

靴と上履きの廊下ができ、デンのような空間もできる。



平面図 S=1:400



イベント時は窓を開けて中庭と公園をつなげる

平面図 S=1:400

H=1:4500